

## 【指定就労継続支援 A 型事業所 経営改善計画書】

法人名称	社会福祉法人薫徳会		法人代表者氏名	齋藤 縣三	
事業所名称	サンワーク（ベーカリー&カフェひまわり）		事業所番号	2317100291	
事業所所在地	名古屋市中種区古出来3丁目2-2				
連絡先	電話番号	090-9756-9445		FAX番号	052-937-0888
	担当者氏名	原田 真規子			
職員数	6名	定員	10名	利用者数	12名（うち身体 0名 知的 2名 精神 10名 その他 0名）
*R3.12.1現在で記入			*令和3年12月における実利用人数（想定）を記載してください。		
事業所の設置主体	社会福祉法人			設立（指定）年月日	平成19年4月1日
改善計画期間	令和3年12月1日～令和4年11月30日（1年間とすること）				

① 現在（令和2年度（4月～3月））の、指定基準第192条第2項（生産活動収入－生産活動経費≧利用者賃金総額）を満たすことができていない理由と具体的改善策（詳細かつ具体的に記載すること）

未達成理由	具体的改善策
①売上：前年比899,954円減。令和元年末からのコロナ禍の影響を受け、新規開拓や受注方法の変更等したものの売上減を食い止めることができなかった。②経費：前年比1,276,482円減。機材購入の支払いで増加した部分はあるものの、売上減に伴う材料費も一部あるが、製造原価の見直し、廃棄減に向けた販売方法の見直しした成果が出てきた。③利用者の労働時間：前年比330時間増。利用者の入退職もなかったことに加え、コロナ禍で緊急事態宣言中は休む人もいたが年間を通じて安定して出勤できた為、微増した。	①大口受注に向けた体制作り：作業の効率化。 ②販路拡大：年3件以上の新規販売先の獲得。大口受注に向けた営業活動。わっぱんとの共同仕入れ共同受注体制の構築。 ③お客様のニーズに合った商品開発。 ④広報活動、販売方法の抜本的な見直し。 ⑤ロス＝0を目指し、販売先を開拓していく。

② 現在（令和2年度（4月～3月））の事業内容及び計画期間（令和3年12月～令和4年11月）を通じて実施する事業内容

現在の事業内容	計画期間を通じて実施する事業内容
パン製造販売・カフェ事業。販売先：店舗・社協・保健センター・区役所等8ヶ所。注文販売：7ヶ所。委託販売：3ヶ所。イベント販売：0回。コロナ禍で販売休止：2ヶ所。新規販売先：4ヶ所。単独での販売・商品開発だけでなく、他事業所と販売協力体制の構築やコラボ商品の開発に取り組んでいる。	パン製造販売・カフェ事業。コロナ禍に対応できる注文販売や配達事業の拡充。積極的な広報活動を展開。チラシの配布、SNSやインターネットの活用。他社の下請けとして、菓子等の受注販売等新規事業の更なる推進。他事業所とのコラボ商品の拡充。お客様を飽きさせないイベントを企画。販売イベントへの積極的な参加。広報活動はメンバー中心として進め、商品開発各種企画は職員を中心にメンバーも参画していく。

（\*）事業内容には、生産活動の内容、対象顧客、市場動向、競合相手の動向、改善後の事業内容に主に従事する者の数や属性（どのような資格、経験等を持った者が担当するか等）について詳細に記載すること

③ 現在（令和2年度（4月～3月））の生産活動に係る、事業の収入額（＝就労支援事業収益）及び計画期間（令和3年12月～令和4年11月）を通じて達成する事業収入目標額（1年間の額を記載）※1

現在の収益額（注1）	計画期間を通じて達成するべき目標収益額（注2）
6,399,811円	8,710,634円
（主な費目） 店舗売上収入（52.8%）、外販売上収入（21.3%） 注文売上収入（14.4%）、単発注文・販売売上収入（0.7%） 委託販売売上収入（10.8%）	（積算根拠） 店舗売上収入（40.3%）、外販売上収入（26.3%） 注文売上収入（15.4%）、単発注文・販売売上収入（1.7%） 委託販売売上収入（11.2%）、イベント販売売上収入（5.1%）

※1 実際の収益発生年度に計上してください。消費税、特定求職者雇用開発助成金等は除いて記載してください。

（注1）現在の収入額については、先日ご提出いただいたA型事業に係る実態調査票の生産活動収益欄の令和2年度数値と同じとなります。以下、回答項目④～⑥も同様です。

（注2）目標収入額は、「平均利用者数×平均労働時間×最低賃金額×平均利用日数×12か月」以上の額でなければならない。

④ 現在（令和2年度（4月～3月））の生産活動に伴う費用及び計画期間（令和3年12月～令和4年11月）を通じて見込まれる必要費用の見込額（1年間の費用を記載）※2

現在の費用	計画期間を通じて見込まれる費用
3,521,216円	4,515,802円
（主な費目） 材料費：2,770,488円 水道光熱費：413,601円 燃料費：111,528円 器具什器費：225,600円	（積算根拠） 材料費：3,712,560円 水道光熱費：454,962円 燃料費：122,680円 器具什器費：225,600円

※2 原材料費や生産活動に係る経費（厨房リース料など）を計上してください。

⑤ 生産活動に係る事業の「収益」－生産活動に伴う必要「費用」（③－④）

現在（令和2年度（4月～3月））の「収益－費用」	計画期間における「収益－費用」
2,878,595円	4,194,832円

⑥ 現在（令和2年度（4月～3月））の利用者の総賃金額及び計画期間（令和3年12月～令和4年11月）における利用者の総賃金額等

	現在	計画期間
(A) 支払い 総賃金額 (※3※4)	9,261,445 円	9,516,488 円
	(積算根拠) 総労働時間 9,449時間（平均労働時間 4.48時間） 平均利用者数 8.4人、利用日数 250日 平均時給 980円、最低賃金除外申請者 0人	(積算根拠) 総労働時間 9922.5時間（平均労働時間 4.5時間） 平均利用者数 9人、利用日数 245日 平均時給 959円、最低賃金除外申請者 0人
給付費等充当額 (B)=(A)-⑤	6,382,850 円	5,321,656 円
利用者の 総労働時間 (C) ※5	9,449 時間	9,923 時間
時給換算額 ⑤÷(C)	304 円	422 円

※3 利用者の労働年度における賃金発生額を計上してください。

(例) R3年3月に労働した分の給与支払いが4月15日の場合、3月分に計上されるためR2年度に計上する。

※4 社会保険料等事業主負担分を含めて記載してください。

※5 利用者の当該年度に勤務した労働時間数を記載してください。単位は「時間」で記載し、小数点第一位以下は切り捨ててください。

事業所代表者署名欄

齋藤 縣三